
新春 陽だまりハイク～♪♪

西上州 大平戸山～立処山

白井達也

正月も4日ともなると流石におせちも食べ飽き、無聊を慰めるハイキングに出かけました。

- メンバー 白井(単独)
- 2016年1月4日(月) 晴れ
- コースタイム

古鉄橋駐車場7:25→大平戸山9:18→野栗峠10:20→1136m高点11:30→登り返し12:23→1136m高点下12:45→オバンドウ峠13:26→立処山14:47→駐車場15:43
歩程8時間17分(休憩・コースロス含む)

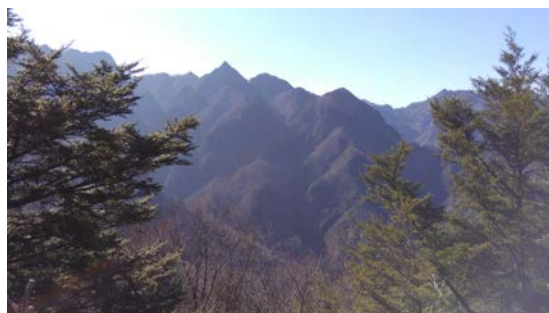
周回コースをとりたいので、終着点(立処山)に近い古鉄橋駐車場(工事の現場事務所や資材が置かれて狭くなっています)から平原トンネル手前まで歩き、尾根末端を回りこむように付いている林道(鳥頭沢線)から尾根に取付きます。(河岸にヘリポートあり)

里に近いせいか、尾根に沿った道やら尾根を横切る道やら結構仕事道が錯綜していますが、境界杭(テープ付)を追ってひたすら広葉樹林の尾根を直登して行きます。少し傾斜が緩んだ所で群馬県林業公社の標識を見ると(祠あり)、今度は植林尾根の急登が続きます。すると9時過ぎにドーンと発破の音が…。叶山鉱山の仕事始めのようです。

小ピークを越えてひと上りすると、大平戸山の山頂に到着。頂上には三角点と、木に打ち付けられた山名板があります。また、伐採された東側に展望があり、破碎の土煙上がる叶山が良く見えました。

ここからは、今までの急登とは違って変わったなだらかな尾根を南に進路をとります。落ち葉の絨毯をゆるやかに下ると、林道出現。軽トラックが一台停まっています。ここまで車であれば大平戸山はピクニックコースですね。さらに進むと2つ目の送電鉄塔、と急にガサガサと音がして、犬が2匹出現！吠えもせず、猟犬のようです。すると気配を察したのか、左下の林道から誰何の声。登山者で立処山に向かう旨伝え、「そちら方面には入って(狩猟)いないが気をつけて」の声。先のトラックの主でしょうか。礼を言って先を急ぎます。

野栗峠(林道が通っています)を越え、展望のない針葉樹林の尾根を行くと、本日の折り返し点1136m高点下の岩稜に到着。これを攀じるとちょうど南側の展望が開け、昨年4月に登った大ナゲン北稜を正面に見ることができました。右には大山の尖峰も見えます。



ひと登りで1136m高点に到着。何の変哲もない樹林のピーク(展望なし)ですが、ここで昼食をとり、進路を北に変えて急な斜面を下って行きますが…?未舗装の林道に出ました。

さらに下るとまた林道・・・懲りずに下るとまた林道・・・ふと右を見ると木間越しに稜線が高く見えます。あちゃ～！まっすぐ沢に降りる北尾根に乗ってしまいました。(>_<)

登りかえすこと20分強。ピーク下の少し開けた場所に出て注意して見ると、北東側に丸い尾根が下がっています！下りてみるとこちらにも境界杭が！！まあ、道を間違えるのも藪山山行の楽しみの一つですが・・・(T_T)

下るにつれ尾根は細くなり、明瞭になってきます。急な尾根道を標高差250mほど下ると祠のあるオバンドウ峠(標識あり)に到着。横切る道は、地図にある明家と間物の集落をつなぐ峠道のようなのです。908m高点を越えてゆるやかに下ると、左後方から道が合流(峠からの巻道)。青い鹿除けネットも張られています。ネット沿いに下って行くと、いきなり西側からパンパンと銃声が響いてきました。行きに出会ったハンターでしょうか。ちょっとビックリです。

本日6基目の送電鉄塔を過ぎて下って行くと、右に国道299号線に下りる道が現れ、立処山への最後の登りにかかります。岩も出てきて(トラロープ2ヶ所)登山道っぽくなってきます。最後にぐいっと登ると細長い山頂の一角。右に折れて岩場を登ると、展望の良い立処山の山頂に到着です。

まず目に飛び込んでくるのは、北側の城山からはさみ岩・サスの峰を経て、栗原山へと

続くサス尾根と、そこに食いこむ東福寺川の荒々しい姿。南に振り返れば、青空に黒いシルエットが映える赤岩尾根。東には両神山の岩峰が重なり、西には大ナゲシ・大山などの尖峰が連なっています。足元を見れば、立処山の影に沈む神ヶ原の町が広がって、まるで宙に浮いているかのような高度感です。



下山コースは、落ち葉の降り積もった斜面を、ロープにすがって急下降。鍾乳洞(入らなればヘルメット・ヘッドランプ必携)の入り口を右に見て、少し下ると傾斜も緩みほっと一息。最後は畑の中を通らせていただき(ネットあり)、なんとか日暮前に下山完了いたしました。

新しい年の初めに、静かな陽だまり山行を楽しむことが出来ました。(^.^)y-。oO

